

証券コード 5411

JFEホールディングス 会社説明会 ～JFEグループの強みと成長戦略～

2021年11月27日 個人投資家向けWeb説明会

専務執行役員 田中利弘

ログミーFinance主催



本日お伝えしたい内容

1. J F Eグループ 事業紹介

- グループの概要
- 数字で分かる J F Eグループ
- 事業の特性（鉄鋼事業）～鉄という素材とは～
- 事業の特性（エンジニアリング事業）～事業を通じたSDGsへの貢献～

2. 中期経営計画

- J F Eグループを取り巻く事業環境
- CO₂排出量削減の取り組み
- 事業の再編、成長戦略の推進
- 財務・収益目標

3. グループ収益・株主還元





1. J F Eグループ 事業紹介



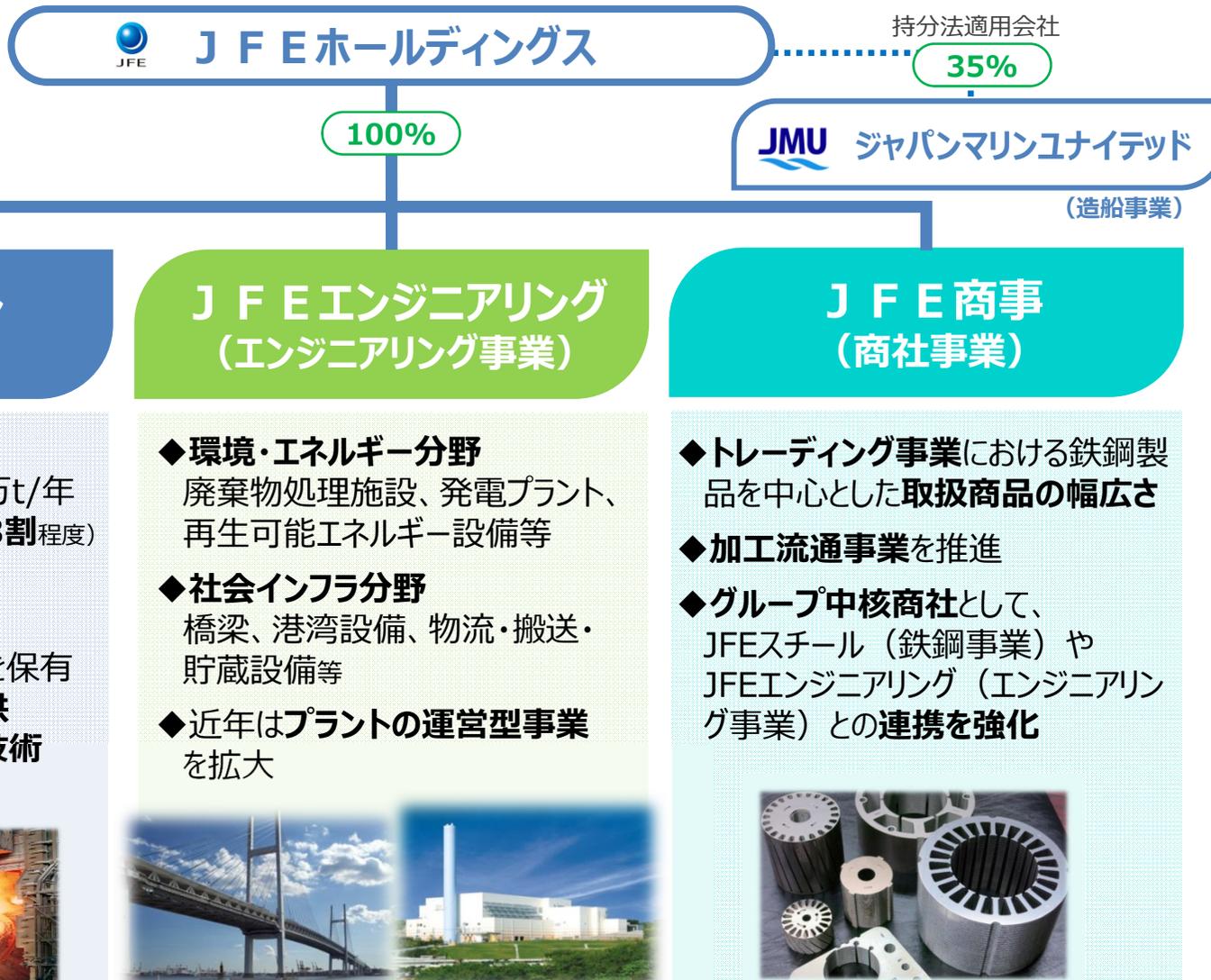
JFEグループの概要

JFE

会社の沿革

2002年9月に川崎製鉄とNKK(日本鋼管)が経営統合して発足

会社の概要





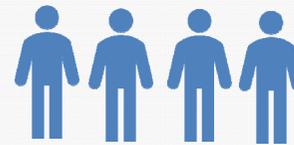
数字で分かるJFEグループ

JFE

会社の規模



グループ海外拠点
22か国109拠点



連結従業員数
64,371人
(21年3月末)

生産能力・実績

JFEスチールの国内生産拠点
4製鉄所 2製造所



JFEスチールの累積粗鋼生産量
(1946年以降、統合前旧会社含む)
14億トン以上



JFEエンジニアリングが建設した
国内一般廃棄物発電施設*の廃棄物処理能力
20,000トン弱/日
*21年8月現在の稼働中施設



1日あたり2千万人分のごみ処理が可能!



事業の特性（鉄鋼事業）～鉄という素材とは～

JFE

■ 他素材に勝る特性

- 低コストで大量生産が可能
リーズナブルな価格で
安定的に大量供給されるからこそ
さまざまな分野で使用される
- 圧倒的な加工のしやすさ
- 他素材に比べ、低い環境負荷

	鉄鋼	アルミニウム	炭素繊維
世界年間 生産量* (2020年)	約 19億ト	約 6,500万ト	約 13万ト
価格 (自動車向け板材 鉄鋼 = 1)	1	5~8	30~100
溶接加工	容易	大電流が必要	困難
単位当たり CO ₂ 排出	1	5~9	11

■ あらゆる産業の基盤素材として使用される裾野の広さ



- 鉄に代替できる素材は無く、新興国の経済成長に伴い、世界全体の鉄鋼需要は
今後も成長が続く見通し
- 単位当たりの環境負荷は他素材と比較して圧倒的に低いが、
生産量が多く、CO₂総排出量が大きいため、その削減は大きな課題である



JFE

事業の特性（エンジニアリング事業）～事業を通じたSDGsへの貢献～

SDGs: Sustainable Development Goals

**再生可能エネルギープラントやリサイクルプラント等の普及推進で
環境・社会課題の解決に貢献し、持続可能な未来の実現を目指す**

SDGs達成を加速するための2つの視点

1. CO₂削減へ寄与するビジネスの推進
2. サーキュラーエコノミーの実現に向けたビジネス展開

6

安全な水とトイレ
を世界中に



安全な水とトイレ

上下水道ビジネス



水処理施設

11

住み続けられる
まちづくりを



住み続けられるまち

清掃施設
橋梁・鉄構
リサイクル



橋梁

12

つくる責任
つかう責任



つくる責任 つかう責任

リサイクル施設等



廃棄物発電

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



エネルギーをみんなに

エネルギーインフラ
ガス、再生可能エ
ネルギー、鉄構、
電力ビジネス 等



エネルギープラント

13

気候変動に
具体的な対策を



気候変動対応

全領域
太陽光発電
地熱発電
バイオマス発電 等



洋上風力発電

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう



**産業と
技術革新の基盤**

全領域



産業機械

14

海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守ろう

上下水道ビジネス
原動機
リサイクル



水処理プラント



2. 中期経営計画 (第7次：2021～2024年度)

JFEグループを取り巻く環境は急激かつ大幅な変化の途上
 長期の持続的成長のために、創立以来最大の変革が必要
 経営環境変化に耐える強靱な経営基盤確保に取り組む

<中期的な事業環境見込み>

社会課題

気候変動問題対応について
 関心・要求の高まり



国内市場

人口減少を背景に
 鋼材需要減少

輸出市場

汎用品の価格競争激化
 鋼材地産地消の潮流

<主要施策>

鉄鋼

➤ 鉄鋼事業のCO₂排出量削減

グループ全体

➤ CO₂排出量削減を事業機会と
 みなした成長戦略の推進

鉄鋼

➤ 「量」から「質」への転換

エンジニアリング

➤ 売上収益1兆円に向けた事業拡大

グループ全体

➤ DX戦略の推進による競争力確保

環境的
 持続性

経済的
 持続性



CO₂排出削減の取り組み

環境的持続性

JFE

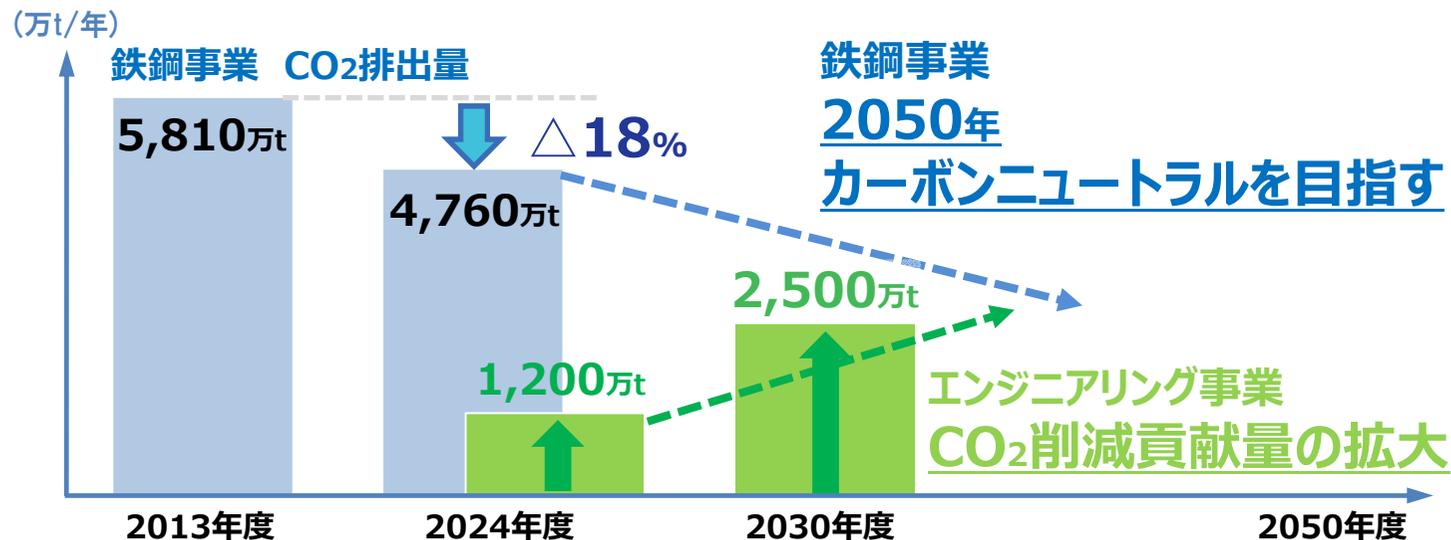
JFEグループ CO₂削減目標

鉄鋼部門

14% 1億5,500万t



環境省発表
2019年度温室効果ガス排出量（確報値）



JFEグループ
CO₂削減の
具体的取り組み

鉄鋼事業のCO₂排出量削減

➤ 超革新的技術開発への挑戦

CO₂排出量削減を 事業機会と捉えた成長戦略の推進

➤ エコプロダクト、洋上風カビジネス

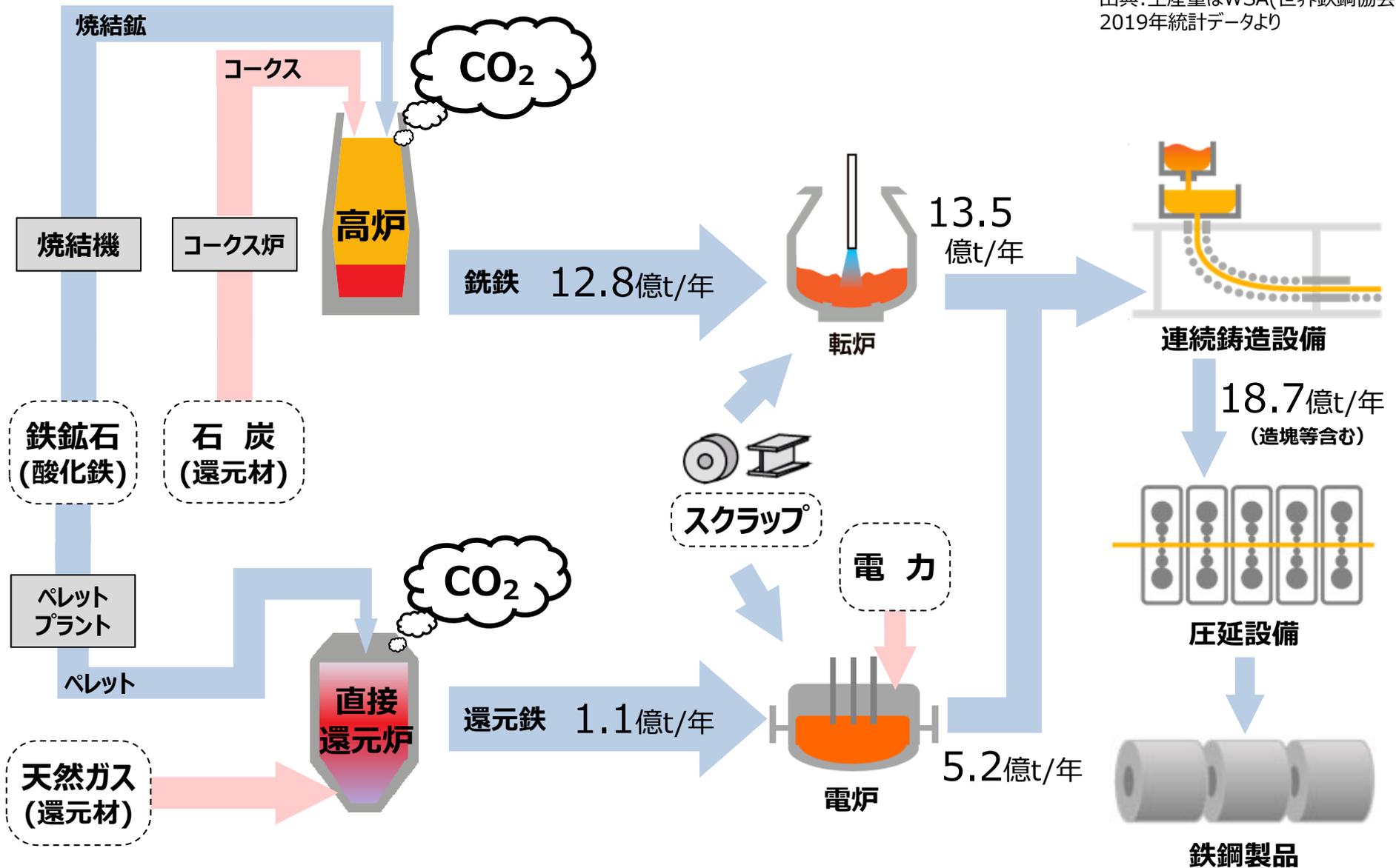


製鉄プロセスとCO₂排出

JFE

環境的持続性

出典:生産量はWSA(世界鉄鋼協会)
2019年統計データより



製鉄プロセスの脱炭素化達成のための技術開発には、複数のアプローチが存在
 いずれの方法にも優位性と課題があり、**どれも技術的に確立されていない**
 技術確立までは**多様な技術の複線的な開発が必要**

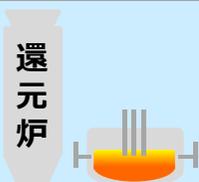
高炉
技術



- ・カーボンリサイクル高炉
- ・COURSE50、Super-COURSE50

課題 水素吸熱反応、余剰CO₂の活用

直接
還元
技術



- ・水素製鉄(直接還元)

課題 水素吸熱反応、原料制約

電炉
技術



- ・電気炉

課題 生産性向上、高級鋼製造、
電力コスト、冷鉄源拡大

グリーン水素・グリーン電力
安価安定大量供給

カーボンニュートラル

当社独自技術である**カーボンリサイクル高炉**をはじめとして
 超革新技术を世界の競合他社に先駆けて、可能な限り早い時期に確立

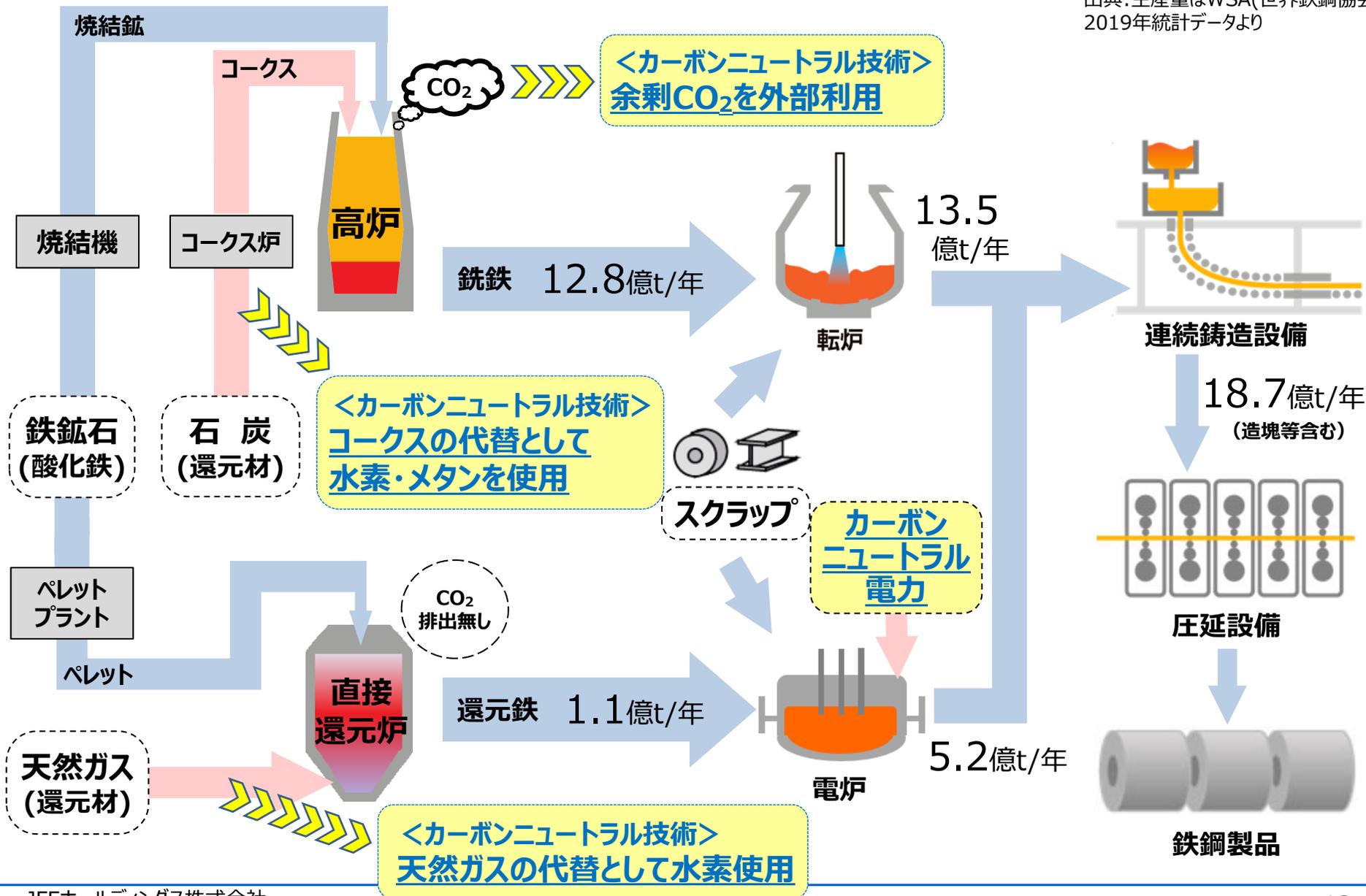


製鉄プロセスとカーボンニュートラル技術

環境的持続性

JFE

出典:生産量はWSA(世界鉄鋼協会)
2019年統計データより



環境配慮型商品の開発・拡販を通じて、社会全体CO₂削減に貢献

環境
配慮型商品

電磁鋼板



自動車用ハイテン鋼



洋上風力用鋼材



取り組み事例

高級電磁鋼板の製造・販売体制の構築

世界各国で
環境規制の強化や
電動車の推進計画

電動車のモーターに使用される
高級電磁鋼板の需要は急拡大

➤ JFEグループ全体で需要を捕捉、社会全体のCO₂削減に貢献

JFEスチール

高級電磁鋼板の供給体制拡大

国内：電磁鋼板製造設備増強

海外：JSW(印)と電磁鋼板製造・販売合併会社設立を検討

JFE商事

世界No.1の電磁鋼板グローバル加工体制

アライアンスとの協業拡大、新たな地域でのSCM構築、加工機能の深化

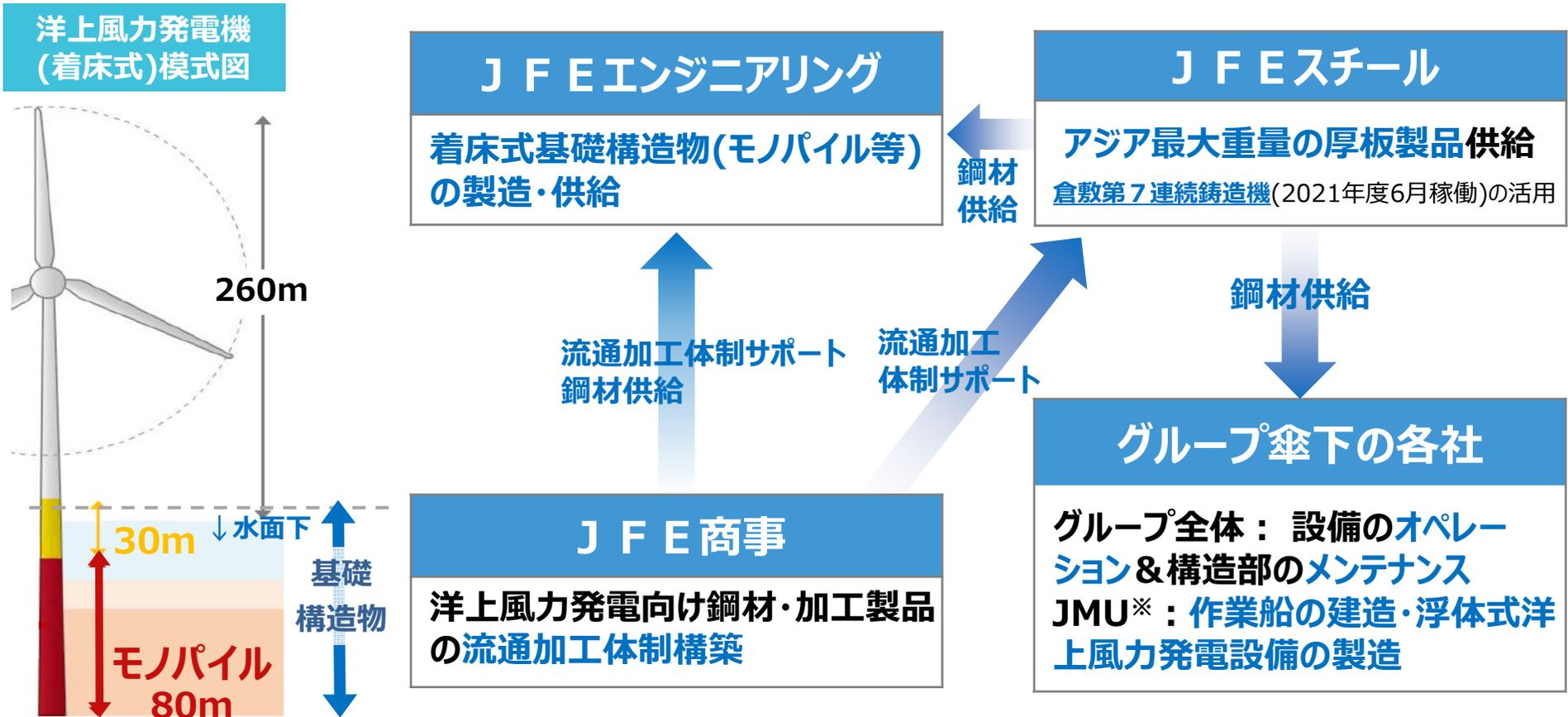


JFE

成長戦略の推進 - 洋上風力ビジネス事業化

環境的持続性

- 日本政府は、2020年末に「洋上風力産業ビジョン」を公表し、**官民共同での洋上風力の積極的導入**を表明（2040年官民導入量目標：30~45GW）
- JFEグループも**基礎構造物製造を事業化**することにより、洋上風力発電事業における先行者となり、グループ全体でサプライチェーンを構築
- **JFEエンジニアリングを主体として、再生可能エネルギー分野での事業拡大を目指す**



収益の源泉を「量(鋼材トン)」から「質(鋼材トン当たり利益)」へシフト
 気候変動問題を克服しグローバル競争を勝ち抜く**世界トップレベルの収益力**を追求
 2024年度**鋼材トン当たり1万円、鉄鋼事業セグメント利益2,300億円**を確保

アクション① 生産体制の最適化

将来の競争力維持のために**スリムで強靱な体制の構築**を目指し、
 2023年9月を目途に生産体制を見直し

JFEスチールの生産体制

西日本製鉄所

福山地区

高炉3基

倉敷地区

高炉3基

東日本製鉄所

京浜地区

高炉1→0基

千葉地区

高炉1基

仙台製造所

電気炉1基

知多製造所

鋼管専門工場

- 生産能力削減 粗鋼生産能力 3,000万t→2,600万t
 (約**400万t/年** (約▲13%) 削減)
- 収益改善効果 **約850億円** (固定費の削減、労働生産性の向上)

アクション②

マージンの拡大と安定収益の確保

- 高付加価値品*比率 50%へ引き上げ

プロダクトミックスを高度化

- 電磁鋼板
- 自動車用ハイテン材
- 洋上風力用鋼材 等



- 販売価格の抜本的な見直しを推進

価値に見合った販売価格体系構築を目指し、価格の抜本的な見直しを推進

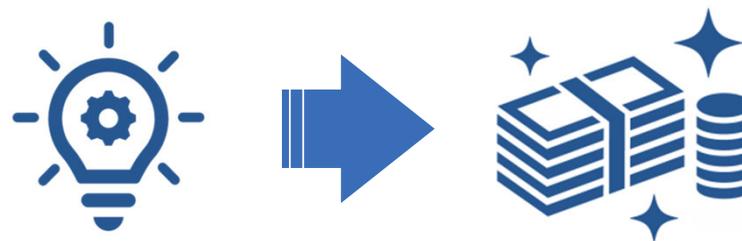
*技術優位性を有し、お客様から付加価値を認めていただき、汎用品を上回る収益力を持つ商品

アクション③

海外事業の拡大

- ソリューション型ビジネスの拡大

脱炭素技術を含めた製造・研究データやノウハウを海外メーカーに販売、技術収入を獲得する事業モデルを構築





JFE

(参考) JFEグループのグローバル展開

経済的持続性

- JFEスチール
- JFEエンジニアリング
- JFE商事

JFEエンジニアリング：
スタンダードケッセル（ドイツ）
廃棄物処理施設

JFE商事：
北米で電磁鋼板加工拠点を展開

JFEスチール・JFE商事：
アジアを中心に加工拠点を展開

JFEスチール：
自動車用鋼板加工拠点

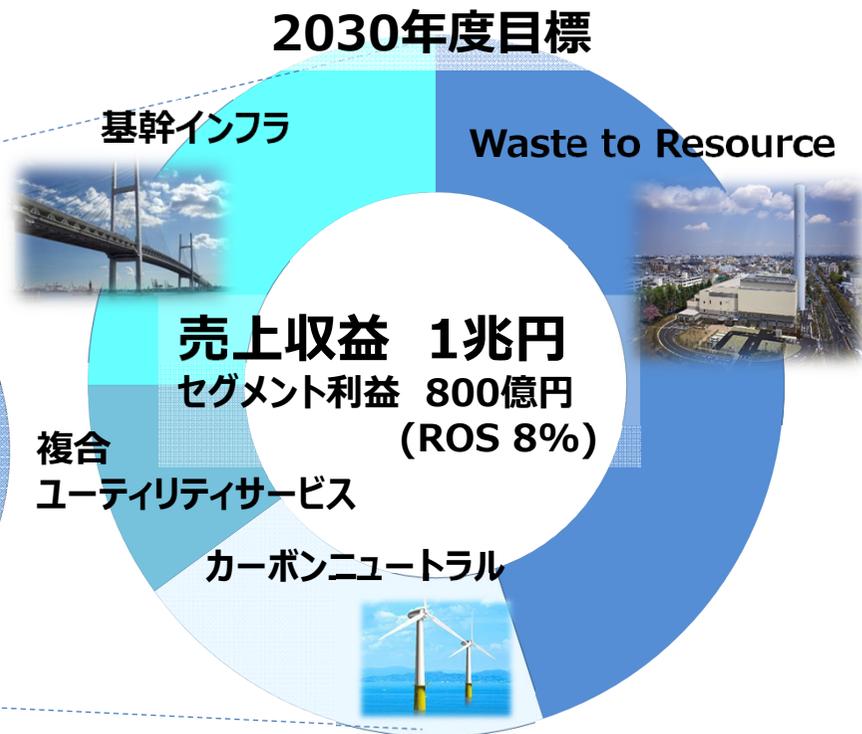
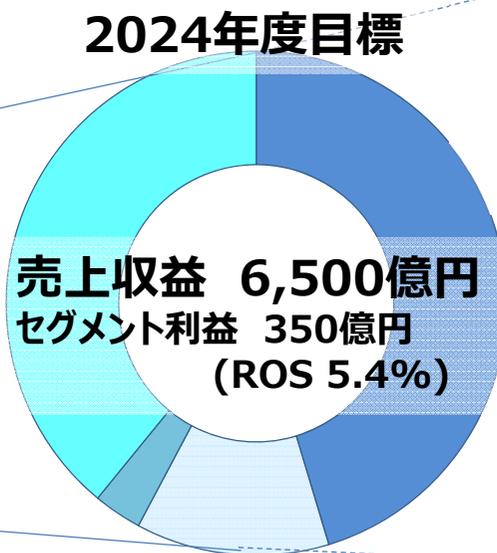
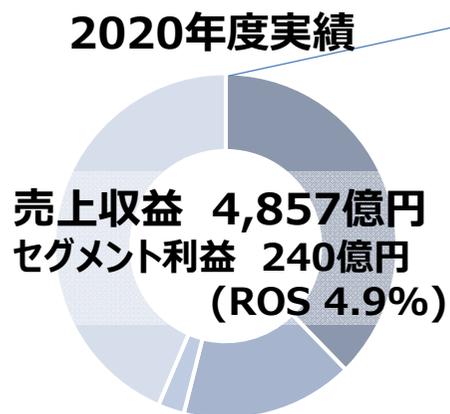
広州JFE鋼板（中国）
JSGI（インドネシア）
JSGT（タイ）
NJSM（メキシコ）

JFEスチール：
海外一貫製鉄所

JSWスチール（インド）
FHS（ベトナム）

22か国 109拠点

- 再生可能エネルギープラントやリサイクルプラント等の普及を推進する等、**事業活動を通じて、SDGs達成に貢献**できる
- CO₂排出削減、循環型社会の実現**につながる分野をグループにおける**成長分野**として事業規模拡大を通じ、**2030年度には売上収益1兆円規模**への事業成長をめざす



CO₂削減貢献量目標

1,200万トン

拡大

2,500万トン



JFE

JFEスチール

高炉でのCPS*導入

*Cyber Physical Systems

- 高温で直接見ることの出来ない高炉炉内を、**仮想モデル上でリアルタイム可視化**
- 高精度での炉熱予測、異常早期予知が可能
⇒**操業の効率化、安定化を実現**
- 2025~27年中の**自動運転**を目指す



JFEエンジニアリング

廃棄物発電プラント 完全自動運転システム

- 熟練運転員の操作を**AIに学習させシステム化**
- **手動介入ゼロの完全自動運転を実現**
- 発電量も**約4%増加**

遠隔監視拠点GRC*(グローバルリモートセンター)で国内海外83カ所のプラントを集中管理



* JFEエンジニアリング横浜本社内所在

- 今後は、**選択と集中に基づく効果的な投資**を実行
- 鉄鋼事業と相乗効果が低い資産や事業についての見直し等により、**資産圧縮**を図る
→ **投資効果発現と財務健全性の両立**を図る

設備投資 (4カ年累計)	12,000億円程度
事業投資 (4カ年累計)	2,500億円程度
うち、 カーボンニュートラル投資	3,400億円程度
デジタルトランスフォーメーション投資	1,200億円程度

資産圧縮による	
キャッシュ創出 (4カ年累計)	2,000億円程度



JFE

2024年度（現中期計画最終年度）財務・収益目標と株主還元方針

- 中長期成長戦略を着実に実行し、2024年度（現中期計画最終年度）では、下記の財務・収益目標の達成を目指す

連結事業利益 **3,200億円**

セグメント利益	鉄鋼事業	2,300億円
	エンジニアリング事業	350億円
	商社事業	400億円

親会社所有者帰属当期利益 **2,200億円**

ROE **10%**

Debt/EBITDA	3倍程度	D/E	70%程度
--------------------	-------------	------------	--------------

配当性向 **30%程度**



3. グループ収益・株主還元

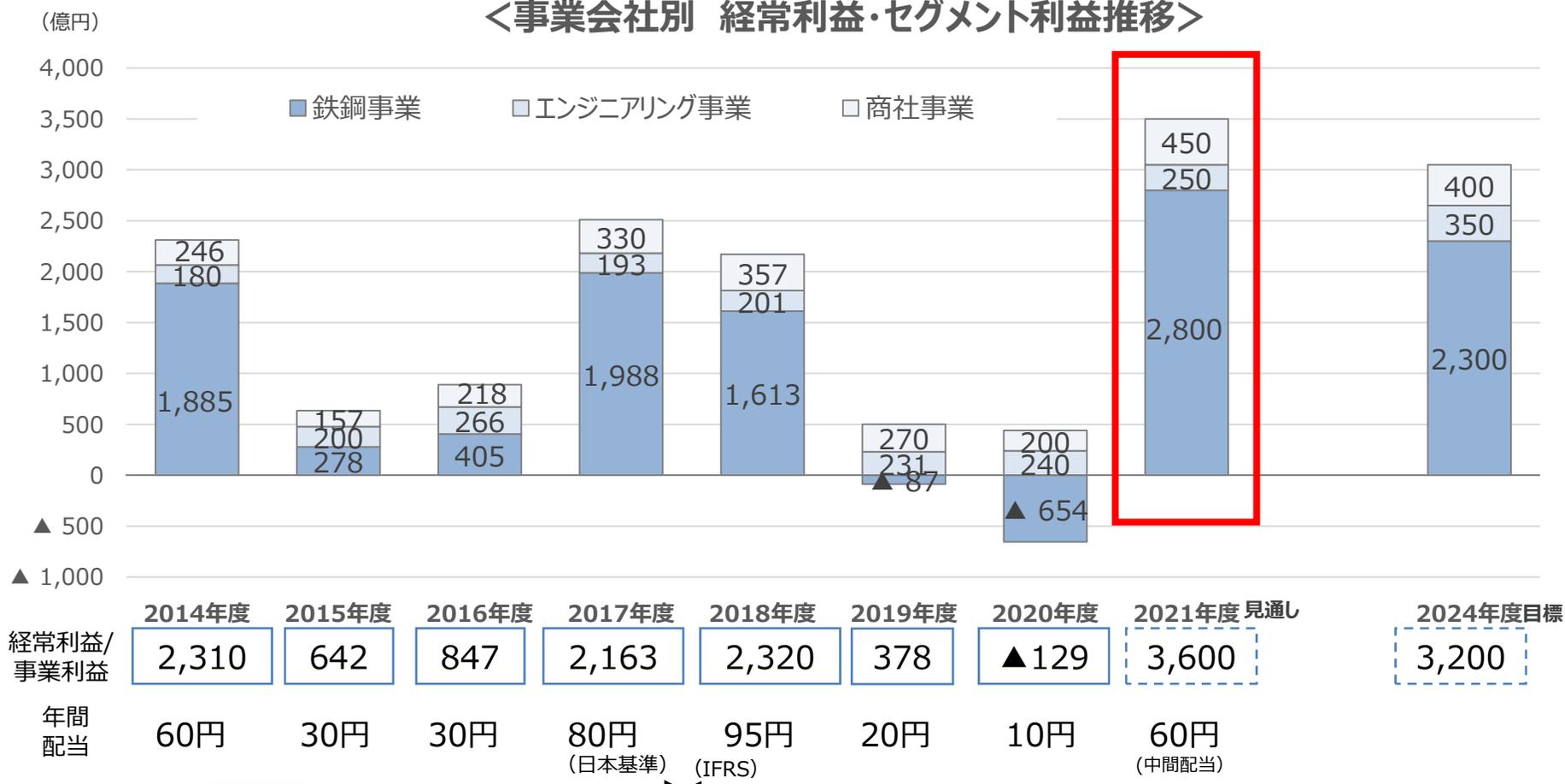


JFE

JFEホールディングスの業績推移 (経常利益/セグメント利益)

- 新型コロナウイルス感染拡大影響により、20年度収益は大幅に落ち込んだが、**2021年度は国内外の鋼材需要の回復により、大幅な収益改善を見込む**
- 業績の回復を受け、**2021年度中間配当は60円/株**。期末配当は未定

<事業会社別 経常利益・セグメント利益推移>



※棒グラフ「調整額」を除いた数字で表示。トータルは調整額込みの経常利益（日本基準）/事業利益(IFRS)合計を記載

■企業理念

**JFE グループ は
常に世界最高の技術をもって
社会に貢献します。**

■行動規範

挑戦。柔軟。誠実。

以上



<シンボルマークの意味>

形：無限に回転し続ける球体は、あらゆる顧客との接点を広く求め、コミュニケーションを深めていくことを意味しています。

色：ブルーは信頼・奥深さを意味し、地球規模で活動していく企業、宇宙・空といった無限で広大な企業イメージを表現しています。

Copyright © 2021 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

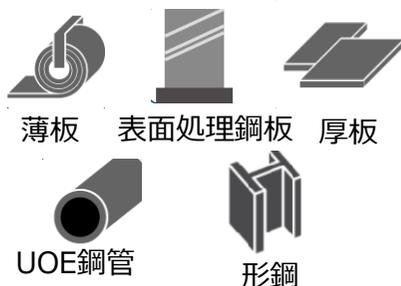
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい

(参考) JFEスチールの生産体制

西日本製鉄所

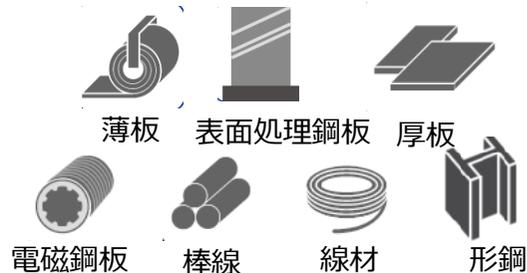
福山地区

高炉 3 基



倉敷地区

高炉 3 基



仙台製造所

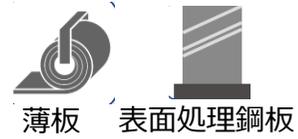
電炉 1 基



東日本製鉄所

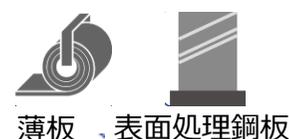
京浜地区

高炉 1 基



千葉地区

高炉 1 基



知多製造所

